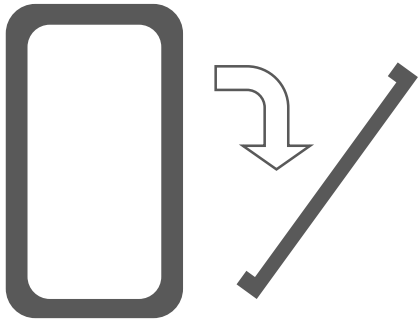


ペレットストーブOU 鋳物フレーム制作過程

約960年の歴史を持つ山形鋳物。きめの細やかな山形の砂による美しい鋳肌が特徴で、「薄肉美麗」と形容されます。OUの「継ぎ目のない、柔らかな曲線」を表現している鋳物は、一つ一つ型から手作りされています。

そんな鋳物の制作過程についてご紹介します。

型を用意します



作業工程

細かい砂
(山形県産)

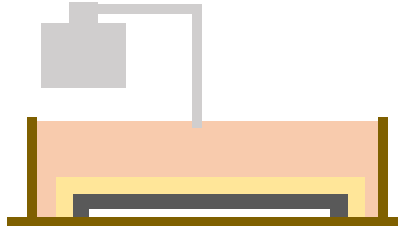
少し目の大きい
砂 (山形県産)



型の表面に、細かい砂を敷き詰めます。



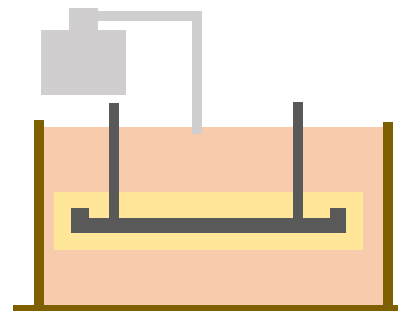
さらに上から、少し目の大きい砂を敷き詰めます。



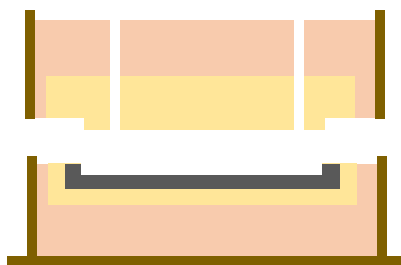
ガスを注入し、砂を固めます。



砂が固まったらひっくり返し、型の表面に細かい砂を敷き詰めます。



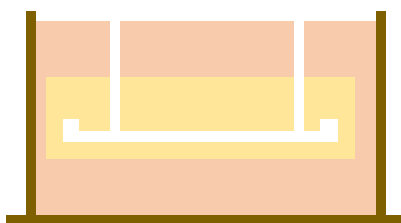
湯口となるパイプを入れつつ、さらに目の少し大きい砂を敷き詰め、ガスを注入し砂を固めます。



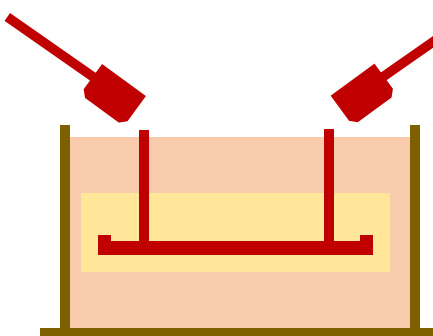
砂が固まったら、上下に分割します。



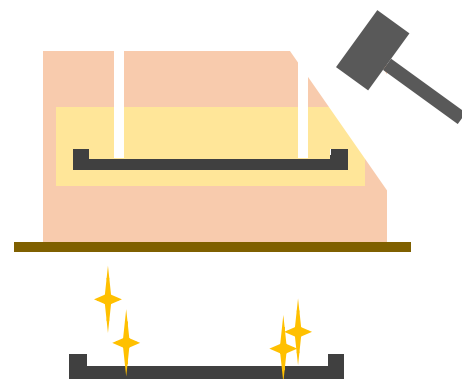
砂を崩さないよう、型を抜き取ります。



再度上下を合わせると、型のあった部分が空洞になります。



湯口から溶けた鉄を流し込み、冷えるのを待ちます。



鉄が冷えたら砂型を壊し、取り出します。

バリなど余計な部分を磨き、塗装すると完成です！